



軽防協ニュース速報

2025 年第 1 四半期(1 月-3 月)の伝染病発生状況

2025 年 4 月配信

(International Collating Centre からの情報)

ICC の概要

International Collating Centre (ICC) は、35 年以上にわたり、世界の馬の疾病発生データを編集しており、Equine Infectious Disease Surveillance (EIDS) によって監督されています。ICC は国際馬術連盟、国際サラブレッド生産者連盟のメンバー、日本中央競馬会、ランウェイズスタッドからの寄付によって、多大な支援を受けています。

ICC は、国内外の馬の疾病発生を毎日電子メールで報告しています。報告を受け取るには equinesurveillance@vet.cam.ac.uk までご連絡ください。ICC ビューアーのウェブサイトでは、詳細なインタラクティブレポートが提供されています。利用者は、国または地域ごとにデータを分析したり、特定の日付範囲や状態を選択したり、報告された発生の概要を表示したりできます。 <https://equinesurveillance.org/iccview/> をご覧ください。

レポートの概要

この文書は、2025 年の第 1 四半期における国際的な疾病発生の概要を示している。リアルタイム ICC レポートで報告されていなかった国の疾病発生に関する追加の概要レポートも提示されている。この追加情報は、本レポート全体を通して、該当する表と本文中に #印を付して示されている。このレポートに示されているデータは、慎重に解釈する必要がある。検査のために提出されるサンプルや、その後報告に至るまでの方法には多少のバイアスがある可能性がある。したがって、これらのデータは国際的な馬の集団における伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。疾病の発生が報告されていない国は、必ずしもその国に疾病が存在しないことではない。各表は国別に報告された疾病の発生件数をまとめたものであり、複数頭含まれる可能性がある。レポートは、身体の器官別に分類されている。

- ・ 繁殖器疾患
- ・ 呼吸器疾患
- ・ 消化器疾患
- ・ 神経疾患
- ・ その他の疾患

繁殖器疾患

| 発生国 | CEM | EHV-1 | EHV-1/-4 | <i>K.pneumoniae</i> | EHV-4 | Leptospirosis |
|--------|-----|-------|----------|---------------------|-------|---------------|
| ベルギー | - | - | - | - | - | 1 |
| フランス | - | 8 | - | - | - | - |
| ドイツ | 5# | 15 | 1 | - | - | - |
| アイルランド | - | 1 | - | 2 | - | - |
| 日本 | - | 8# | - | - | - | - |
| オランダ | - | 9# | - | - | 1 | - |
| スウェーデン | - | 3 | - | - | - | - |
| イギリス | - | 2 | - | - | - | - |
| アメリカ | - | 1 | - | - | - | - |

: 四半期後に報告があった追加情報

馬伝染性子宮炎 (CEM)

#ドイツ

ヘッセン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州の4施設において各1例ずつの発生が報告された。陽性診断はいずれも生殖器スワブのPCRで行われた。

馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による流産

フランス

アン県、カルヴァドス県、ドローーム県、オルヌ県、イブリーヌ県の各施設で、それぞれ1例ずつ、計8件報告された。陽性診断は、胎子組織および胎盤組織のPCR検査により行われた。

アイルランド

レンスター地方(2例)、マンスター地方(2例)、アルスター地方(2例)の施設で報告された。

ドイツ

15件報告され、そのうち8件はニーダーザクセン州、メクレンブルク・フォアポンメルン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、シュレーズヴィヒ・ホルシュタイン州の各施設で1例ずつ、4件はメクレンブルク・フォアポンメルン州の別々の施設で2例ずつ、3件はメクレンブルク・フォアポンメルン州の異なる施設で3例ずつであった。陽性診断は、胎子肺吸引液、悪露、繁殖雌馬の生殖器スワブ、鼻腔スワブ、胎盤組織など、さまざまな検体の組み合わせのPCR検査で行われた。

#日本

四半期後に、ワクチン接種済みのサラブレッド繁殖雌馬から 8 例、異なる施設で報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

#オランダ

9 件報告された。そのうち 6 件は、フリースラント州、ヘルダーラント州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州の各施設で 1 例ずつ認めた。フローニンゲン州の施設では、EHV-1 流産と新生子馬の感染がさらに 1 件発生し、2 件の流産、虚弱な子馬 1 例、および呼吸器症状を示す 1 例を認めた。陽性診断は PCR 検査で行われた。#2 件の発生が四半期後に報告され、ヘルダーラント州とリンブルフ州の施設でそれぞれ 1 例を認めた。

スウェーデン

3 件報告され、そのうち 2 件はダーラナ県とウプサラ県の施設で 1 例ずつ、1 件はイエムトランド県の施設で複数例発生した。

イギリス

ハンプシャー州とウィルトシャー州の施設でそれぞれ 1 例ずつ計 2 件報告された。陽性診断は、胎子組織の PCR 検査で行われた。

アメリカ合衆国

ユタ州の施設で流産が 1 例報告された。

馬ヘルペスウイルス 1・4 型 (EHV-1/-4) による流産

ドイツ

ヘッセン州の施設で繋養された 14 歳のサラブレッドの繁殖雌馬で、1 例報告された。その雌馬は妊娠満期であった。陽性診断は、胎子組織の PCR 検査で行われた。

Klebsiella pneumoniae による流産

アイルランド

レンスター地方とマンスター地方の各施設で、それぞれ 1 例ずつ報告された。どちらの症例も K (莢膜) 抗原 5 型であった。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による流産

オランダ

ゾイトホラント州の施設で 1 例発生した。陽性診断は胎子および胎盤組織の PCR 検査で行われた。

Leptospirosis による流産

ベルギー

ナミュール州の施設で 1 例発生した。陽性診断は胎子組織の PCR 検査で行われた。

呼吸器疾患

| 発生国 | EHV-1 | EHV-4 | EHV-5 | EI | ロドコッカス | 腺疫 | S.zoo |
|--------|-------|-------|-------|----|--------|-----|-------|
| カナダ | - | - | - | 1 | - | 9 | - |
| フランス | 6 | 24 | - | - | - | 43 | - |
| ドイツ | 25# | 9# | - | - | - | 19# | 1 |
| アイルランド | - | - | - | 4 | 2 | 4 | - |
| イタリア | - | - | 1 | - | - | - | - |
| オランダ | 11# | 20# | - | 1 | - | 36 | - |
| カタール | - | 1 | - | - | - | - | - |
| 南アフリカ | 1# | - | - | - | - | - | - |
| スウェーデン | 3 | - | - | - | - | 3 | 1 |
| スイス | 2 | 1 | - | - | - | 3 | - |
| イギリス | 1 | 4 | - | - | - | - | - |
| アメリカ | 5 | 1 | - | 6 | - | 34 | - |

: 四半期後に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による呼吸器感染症

フランス

6件報告され、そのうち4件はカルヴァドス県、オート・ソーヌ県、オート・サヴォワ県、イブリーヌ県の各施設で1例ずつ、2件はマイエンヌ県とノルマンディー県の施設で2例ずつ認められた。臨床症状は、発咳、倦怠感、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱などを示した。陽性診断は鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。

#オランダ

9件報告され、フレーヴォラント州、フリースラント州、オーファーアイセル州の各施設で1例ずつであった。陽性診断はPCR検査で行われた。#さらに2件の発生が四半期後に報告され、それぞれフレーヴォラント州とフリースラント州の施設で1例ずつであった。陽性診断はPCR検査で行われた。

#ドイツ

25件報告され、そのうち10件はニーダーザクセン州、メクレンブルク・フォアポンメルン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、および地域不記載の施設で1例ずつ、2件はメクレンブルク・フォアポンメルン州とノルトライン・ヴェストファーレン州の施設で2例ずつ、1件はメクレンブルク・フォアポンメルン州の施設で4例、1件はメクレンブルク・フォアポンメルン州の施設で5例、1件はメクレンブルク・フォアポンメルン州の施設で複数例発生した。陽性診断は、鼻腔スワブ、および1例では鼻腔スワブと肺吸引液のPCR検査で行われた。#10件の発生が四半期後に報告され、そのうち9件はニーダーザクセン州、メクレンブルク・フォアポンメルン州、ノルトライン・ヴェストファーレン

ン州の施設で 1 例ずつ、1 件はメクレンブルク・フォアポンメルン州の施設で 4 例が発生した。陽性診断は鼻腔スワブまたは EDTA の PCR 検査で行われた。

#南アフリカ

ガウテン州の施設で、四半期後に 1 例報告された。

スウェーデン

イエヴレボリ県のイエヴレ市、ストックホルム県、ヴェステルノールランド県の施設で 3 件報告された。

スイス

2 件報告され、ベルン州とジュネーブ州の各施設で 1 例ずつ認められた。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

イギリス

グロスターシャー州の施設で、1 例報告された。臨床症状には発熱を示した。陽性診断は LAMP 法で行われた。

#南アフリカ

ガウテン州の施設で、四半期後に 1 例報告された。

アメリカ合衆国

5 件報告された。そのうち 4 件は、メリーランド州、テネシー州、ワシントン州、ウィスコンシン州の各施設で 1 例ずつ、1 件はウィスコンシン州の施設で 2 例発生した。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染

フランス

24 件報告され、そのうち 23 件は、アルデンヌ県、アルプ・ド・オート・プロヴァンス県、ブーシュ・デュ・ローヌ県、カルヴァドス県、オート・ガロンヌ県、ジロンド県、マンシュ県、ニエーヴル県、ノール県、オルヌ県、ピレネー・アトランティック県、サルトル県、ソーヌ・エ・ロワール県、ヴァール県の各施設で 1 例ずつ、1 件はカルヴァドス県の施設で 2 例が発生した。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR 検査で行われた。

#ドイツ

9 件報告され、そのうち 6 件はヘッセン州とノルトライン・ヴェストファーレン州の施設で 1 例ずつ、1 件はニーダーザクセン州の施設で 4 例発生した。臨床症状には、結膜炎、鼻汁、発熱、呼吸器感染などを示した。陽性診断は鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。#四半期後に 2 件報告され、それぞれニーダーザクセン州とノルトライン・ヴェストファーレン州の施設で 1 例ずつであった。

#オランダ

20 件報告され、そのうち 16 件はフリースラント州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州の各施設で 1 例ずつ、2 件はゾルトホラント州の 2 つの施設で複数例発生した。陽性診断は PCR 検査で行われた。#2 例が四半期後に報告され、それぞれフリースラント州とリンブルフ州の施設で 1 例ずつであった。陽性診断は PCR 検査で確認された。

カタル

アル・シャカブで1例報告された。陽性診断は鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。罹患馬は空港到着時にスワブ検査を受け、EHV-4陽性と判定された。

スイス

チューリッヒ州で1例報告された。臨床症状は、発熱、食欲不振、疝痛を示した。陽性診断はPCR検査で行われた。

イギリス

4件報告され、ドーセット州、ハートフォードシャー州、ノース・ヨークシャー州、ウオリックシャー州の各施設で1例ずつであった。臨床症状は、食欲不振、元気消失、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を示した。陽性診断は、鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。

アメリカ合衆国

バージニア州で1例報告された。臨床症状は発熱を示した。陽性診断は鼻腔スワブのPCR検査で行われた。

馬ヘルペスウイルス5型 (EHV-5) による呼吸器感染

イタリア

トスカーナ州のピサ県で1例報告された。臨床症状は発熱と呼吸器症状を示した。陽性診断は気管スワブのPCR検査で行われた。

馬インフルエンザ (EI)

アイルランド

レンスター地方（2例）とマンスター地方（2例）の施設で報告された。

オランダ

オーファーアイセル州で1例報告された。陽性診断はPCR検査で行われた。

アメリカ合衆国

6件報告され、フロリダ州、ワシントン州、ワイオミング州の各施設で1例ずつ認められた。臨床症状は発熱と発咳を示した。

ロドコッカス・エクイ

アイルランド

2件報告され、それぞれ1例ずつ、レンスター地方（PCRおよび培養で確認）とマンスター地方（培養のみで確認）で発生した。

腺疫

カナダ

9件報告され、そのうち7件はオンタリオ州とケベック州の施設で1例ずつ、2件はオンタリオ州の異なる施設で3例ずつであった。臨床症状は、膿瘍形成、鼻汁、発熱を示した。

フランス

43 件報告され、そのうち 37 件は、オード県、カルヴァドス県、コート・ダルモール県、ドローム県、ウール県、ジロンド県、オート・ソーヌ県、オート・サヴォワ県、エロー県、イル・エ・ヴィレーヌ県、イゼール県、ロワール・アトランティック県、ムルト・エ・モゼル県、モルビアン県、パ・ド・カレー県、ローヌ県、サルトル県、サヴォワ県、セーヌ・マリティーム県、ソンム県、ヴォクリューズ県、イブリーヌ県の各施設で 1 例ずつ、3 件はフィニステール県、オート・ソーヌ県、ウール県の施設で 2 例ずつ、2 件はアリエージュ県の異なる施設で 5 例ずつ認めた。臨床症状は、発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を示した。陽性診断は、鼻咽頭スワブまたは喉嚢洗浄液の PCR 検査で行われた。

#ドイツ

19 件報告され、そのうち 13 件はバーデン・ヴュルテンベルク州、バイエルン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、ラインラント・プファルツ州の施設で 1 例ずつ認めた。陽性診断は、喉嚢洗浄液、鼻腔スワブ、および膿瘍スワブの PCR および培養で行われた。#四半期後に 6 件報告され、バーデン・ヴュルテンベルク州、バイエルン州、ニーダーザクセン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州の施設で 1 例ずつ認めた。

アイルランド

4 件報告され、コノート地方（1 例）とレンスター地方（1 例）で PCR 検査により確認され、コノート地方（1 例）とレンスター地方（1 例）で培養検査により確認された。

オランダ

36 件報告され、ドレンタ州、フレヴォラント州、フリースラント州、フローニンゲン州、リンブルフ州、ノールトブラバント州、ノーブルホラント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつであった。陽性診断は PCR 検査で行われた。

スウェーデン

3 件報告され、そのうち 2 件はブレーキングゲ県とダーラナ県で 1 例ずつ、1 件はストックホルム県で複数例が発症した。

スイス

3 件報告され、そのうち 2 件はベルン州の異なる施設で 1 例ずつ、1 件はジュネーブ州の施設で複数例が発症した。臨床症状は、発熱、鼻汁、呼吸器症状、リンパ節腫脹を示した。陽性診断は、PCR 検査と細菌培養で行われた。

アメリカ合衆国

34 件報告され、そのうち 29 件はフロリダ州、ミシガン州、ワシントン州、ウィスコンシン州、バージニア州の各施設で 1 例ずつ、4 件はフロリダ州、ミシガン州、バージニア州、ウィスコンシン州の施設で 2 例ずつ、1 件はニューヨーク州の施設で 6 例が発症した。臨床症状は、膿瘍、発咳、嚥下困難、食欲不振、沈鬱、発熱、鼻汁、リンパ節腫脹を示した。

Streptococcus zooepidemicus による呼吸器感染

ドイツ

ノルトライン・ヴェストファーレン州で 1 例発生した。陽性診断は、鼻腔スワブの PCR 検査で行われた。

スウェーデン

ダーラナ県で 1 件報告された。

消化器疾患

| 発生国 | 馬コロナウイルス | ローソニア | ロドコッカス | サルモネラ症 |
|--------|----------|-------|--------|--------|
| ベルギー | - | - | - | 1 |
| カナダ | - | - | - | 1 |
| フランス | - | - | 3 | - |
| ドイツ | - | - | - | 1 |
| アイルランド | - | 1 | - | 3 |
| オランダ | 20 | - | - | 20# |
| スイス | - | - | - | 1 |
| アメリカ | - | - | - | 1 |

: 四半期後に報告があった追加情報

馬コロナウイルス

オランダ

20 件報告され、フリースラント州、ヘルダーラント州、ゴルデレイク（フリースラント州の町）、ノールトホラント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつであった。陽性診断は PCR 検査で行われた。

ローソニア

アイルランド

レンスター地方で 1 例報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

ロドコッカス

フランス

3 件報告され、コート・ドール県、アンドル・エ・ロワール県、オルヌ県の各施設で 1 例ずつ認めた。陽性診断は糞便の PCR 検査で行われた。

サルモネラ症

ベルギー

リンブルフ州で、*Salmonella enterica* による発生が 1 例報告された。陽性診断は PCR 検査で行われた。

カナダ

ケベック州で 1 例報告された。

ドイツ

ニーダーザクセン州で、1 例報告された。陽性診断は、糞便の PCR 検査で行われた。

アイルランド

レンスター地方（2 例）とマンスター地方（1 例）で報告された。陽性診断は培養検査で行われた。

#オランダ

S. enterica 感染症の発生が 18 件報告され、フリースラント州、ノーブルブラバント州、ノーブルホラント州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州の各施設で 1 例ずつであった。陽性診断は PCR 検査で確認された。#さらに 2 件の発生が四半期後に報告され、オーファーアイセル州の施設で 1 例ずつであった。陽性診断は PCR 検査で確認された。

スイス

ベルン州で 1 例報告された。臨床症状は下痢と発熱を示し、陽性診断は培養検査で行われた。

アメリカ

メリーランド州で 1 例報告された。臨床症状は発熱と疝痛を示した。

神経疾患

| 発生国 | EEE | EEV | EHV-1 | 狂犬病 | WNV |
|--------|-----|------|-------|-----|-----|
| カナダ | - | - | 1 | - | - |
| フランス | - | - | 1 | - | 1 |
| ドイツ | - | - | 2 | - | 1 |
| 日本 | - | - | 2# | - | - |
| オランダ | - | - | 5 | - | - |
| 南アフリカ | - | 215# | - | - | 1# |
| スウェーデン | - | - | 2 | - | - |
| イギリス | - | - | 1 | - | - |
| アメリカ | 2 | - | 14 | 2 | - |

: 四半期後に報告があった追加情報

東部馬脳炎 (EEE)

アメリカ

フロリダ州の異なる施設で、2件報告された。臨床症状は、徘徊、頭部圧迫、筋肉の痙攣、発熱、横臥などを示した。

ウマ脳症ウイルス (EEV)

#南アフリカ

南アフリカでは風土病とみなされており、今回の調査期間中、東ケープ州を除くすべての州で、四半期後に215例の報告があった。内訳は以下のとおり。：フリーステイト州（1例）、ハウテン州（172例）、クワズール・ナタール州（6例）、リンポポ州（3例）、ムマランガ州（3例）、北ケープ州（16例）、ノースウエスト・プロヴィンス州（9例）、西ケープ州（5例）。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患

カナダ

オンタリオ州で、2例報告された。臨床症状は、運動失調、急性神経症状、および横臥を示した。陽性診断はPCR検査で行われた。

フランス

カルヴァドス県で1例報告された。臨床症状は運動失調を示した。陽性診断は、鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。

ドイツ

2件報告され、それぞれノルトライン・ヴェストファーレン州とバーデン・ヴュルテンベルク州のシュトゥットガルトの施設で1例ずつ認められた。陽性診断は、鼻腔スワブとEDTA血液を用いたPCR検査で行われた。

#日本

四半期後に2例報告され、ワクチン未接種の2歳馬で、うち1頭は安楽死処分となった。陽性診断はPCR検査で行われた。

オランダ

5件報告され、そのうち2件はノーブルブラバント州とオーファーアイセル州で1例ずつ、1件はヘルダーラント州で2例、1件はヘルダーラント州でEHV-1神経疾患2例とEHV-1流産（妊娠9ヶ月）1例と発熱した馬6頭、1件はヘルダーラント州の異なる施設でワクチン未接種の馬9頭であった。臨床症状は、流産、運動失調、膀胱麻痺、中枢神経系徴候、後肢麻痺、尾の筋緊張低下、沈鬱、四肢浮腫、失明の可能性、発熱、鼻汁、横臥、無反応などを示した。陽性診断はPCR検査で行われた。

スウェーデン

2件報告され、セーデルマンランド郡とストックホルム郡の施設で1例ずつ認めた。臨床症状は発熱を示した。陽性診断は、血液と鼻腔スワブのPCR検査で行われた。

イギリス

サセックス州で1例報告された。臨床症状は、急性横臥を認めた。陽性診断は鼻咽頭スワブのPCR検査で行われた。

アメリカ

14件報告され、そのうち12件はカリフォルニア州、マサチューセッツ州、モンタナ州、オハイオ州、ウィスコンシン州の各施設で1例ずつ、1件はカリフォルニア州で2例、1件はペンシルベニア州で4例発生した。臨床症状には、運動失調、膀胱弛緩、疝痛、食欲不振、失禁、発熱、横臥、尿閉などがあつた。

狂犬病

アメリカ

マイアミ・デイド郡とノースダコタ州で2件報告された。臨床症状には、神経症状と過度の流涎があつた。

ウエストナイルウイルス (WNV)

フランス

マルティニーク島で1例報告された。

ドイツ

シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州で、1例報告された。

#南アフリカ

西ケープ州で、四半期後に1例報告された。

その他の疾患

| 発生国 | AHS | <i>B.caballi</i> | EIA | EGS | レプトスピラ症 | ピロプラズマ症 | PHF |
|-------|-------|------------------|-----|-----|---------|---------|-----|
| ブルガリア | - | - | 1 | - | - | - | - |
| カナダ | - | - | 1 | - | - | - | - |
| チリ | - | - | 3 | - | - | - | - |
| イタリア | - | 3 | 3 | - | 1 | 30 | - |
| オランダ | - | - | 1 | - | - | - | - |
| 南アフリカ | 102 # | - | - | - | - | 170 # | - |
| スイス | - | - | - | - | 1 | 1 | - |
| イギリス | - | - | - | 4 | - | - | - |
| アメリカ | - | - | 10 | - | - | - | 1 |

#：四半期後に報告があった追加情報

アフリカ馬疫 (AHS)

#南アフリカ

西ケープ州のAHS管理区域を除き、南アフリカで風土病となっている。四半期後、全国のすべての州から102例の症例が報告された。内訳は以下の通り。東ケープ州（4例）、フリーステイト州（7例）、ハウテン州（48例）、クワズール・ナタール州（11例）、リンポポ州（5例）、ムプマランガ州（11例）、北ケープ州（7例）、ノースウエスト・プロヴィンス州（8例）、西ケープ州（1例）。西ケープ州で発生した症例は、AHS感染地域であり、管理区域ではなかった。

馬バベシア症

イタリア

3件の発生が報告された。そのうち2件はフロジノーネ県、ポテンツァ県、ローマ県の施設でそれぞれ1例、残りの1件は2例認めた。陽性診断は、EDTA血液を用いたPCR検査で行われた。

馬伝染性貧血 (EIA)

ブルガリア

ブラゴエフグラード州の施設で1例報告された。陽性診断はELISA法で行われた。

カナダ

サスカチュワン州で1件16例の発生が報告された。

チリ

3件の発生が報告された。1件はサンティアゴ首都圏メリピージャ県サン・ペドロで1例、1件はビオビオ州ロス・アンヘレスで2例、そして1件はビオビオ州サン・ペドロ・デ・ラ・パスで4例を認めた。陽性診断はゲル内沈降反応で行われた。

イタリア

3 件の発生が報告された。2 件はカンパニア州とラツィオ州の施設でそれぞれ 1 例、1 件はカンパニア州の施設でラバ 3 例を認めた。陽性診断は血清を用いたゲル内沈降反応、および血清を用いたゲル内沈降反応と免疫ブロット法で行われた。

オランダ

輸出目的で検査された 1 例を含む、1 件の発生が報告された。陽性診断はゲル内沈降反応で行われた。

アメリカ合衆国

10 件報告され、そのうち 8 件はカリフォルニア州とテキサス州の異なる施設における単一の症例で認めた。残りの 2 件はテキサス州の異なる施設での 2 症例を含むものであった。

馬のグラスシックネス (EGS)

イギリス

4 件報告され、それぞれアバディーン州、イースト・ヨークシャー州、リンカンシャー州、ノース・ヨークシャー州の異なる施設での単一の症例であった。獣医師による臨床症状に基づき、陽性診断が行われた。

レプトスピラ症

イタリア

トスカナ州の施設において、1 件の単一の発生が報告された。血清の顕微鏡凝集試験により、陽性診断が行われた。

スイス

アールガウ州の施設において、1 件の単一の発生が報告された。臨床症状には、食欲不振、高窒素血症、発熱が含まれていた。尿の PCR 検査により、陽性診断が行われた。

ピロプラズマ症

イタリア

T. equi の 30 件の発生が報告された。内訳は、単一症例が 23 件、2 症例が 4 件、5 症例が 1 件、7 症例が 1 件、そして 11 症例が 1 件で、アレツツォ県、フィレンツェ県、フロジノーネ県、グロッセート県、ルッカ県、マッサ、ピサ県、ポテンツァ県、ローマ県、シエナ県の各施設で発生した。陽性診断は、EDTA 加血の PCR 検査によって行われた。

スイス

スイスとドイツの国境にある施設で、ロバ 1 頭におけるピロプラズマ症の発生が 1 件報告された。臨床症状には、体重減少、食欲不振、沈鬱が含まれていた。陽性診断は、*B. caballi* の PCR 検査と抗体検査、および *T. equi* の抗体検査によって行われた。

この症例は口バで発生しており、また、診断において *B. caballi* と *T. equi* の両方に対する検査が行われている点が注目される。国境付近での発生という場所柄も、感染経路を考える上で重要な要素かもしれない。

南アフリカ

ピロプラズマ症は常在病とされており、四半期後に南アフリカの9つの州のうち8つの州から170例の症例が報告された。*B. caballi* と *T. equi* は別々で報告されており、その内訳は以下の通りである。

***B. caballi*:** ハウテン州 (4例)、クワズール・ナタール州 (2例)、ムプマランガ州 (1例)、北ケープ州 (3例)、ノースウエスト・プロヴィンス州 (1例)、西ケープ州 (3例)

***T. equi*:** フリーステイト州 (2例)、ハウテン州 (93例)、クワズール・ナタール州 (10例)、リンポポ州 (2例)、ムプマランガ州 (8例)、北ケープ州 (3例)、ノースウエスト州 (3例)、西ケープ州 (35例)

南アフリカにおけるピロプラズマ症の広がり、特に *T. equi* の感染例がハウテン州と西ケープ州で多いことが示されている。また、9つの州のうち8つの州で報告があることから、国内の広い範囲で注意が必要な状況であることが伺える。

馬のポトマック熱 (PHF)

アメリカ

ワシントン州の施設で、単一症例が1件報告された。臨床症状には、発熱、大腸炎、沈鬱が含まれていた。